



城陽おひさまプロジェクト news

第15号 2015年2月16日 NPO法人・市民共同発電をひろげる城陽の会

(0774-55-4190)

1月18日文化パークで第2回省エネと再生可能エネルギーを考える講演会を開催

講師は大西 一三氏（南丹市・大河内森林組合 組合長）

「地域おこしを再生エネルギーで」

地域からも3名が報告

農家の数ほど再生可能エネ発電所を

大西氏は、大河内はるり溪近くの集落、人口160人60戸（1/1 現在）もつといるかと思っていたが調べた私がビックリしているほど減っている。何とかしなければ集落（村）がなくなってしまう。地域の資源を使って集落の活性化を図る一環として自然



エネルギーに注目し、大河内地域自然エネルギープロジェクト（OEP）を立ち上げた。小水力発電（螺旋水力システム）の試作を行い、公民館前の農業倉庫に取り付けた街灯を点している。森林組合員有志による太陽光発電施設の建設（合計54kw）、自分でも発電所を建設した。今後は風力（レンズ風車）やバイオ発電も考えている。

パワーポイントを使って講演する大西氏

大河内の村は日本のどこでもある村、ここで再生可能エネルギーによる村おこしができれば、どこでも可能になると思う。農家の数ほど再生可能エネルギー発電所をつくって、地域づくりに貢献したい、とお話されました。

大西氏の講演のあと、市民発電1号機の伊藤さんが節電に目が向くようになった。澤江さんが昨年8月は台風で発電が減った、自然を感じる。毎日モニターを見て消し忘れがないか点検している、とそれぞれ発電と暮らしについて報告されました。最後に退職後に仲間と自然エネの会社を起した野村さんが加茂での再生エネと地域おこしの実践で定住者が増えたことや城陽でのシイタケ栽培と太陽光発電の組み合わせなどの取組を話され、会場からは盛んに質問や意見が飛び交いました。

今回の取組では前回と同様、手回し発電や白熱球とLED球の違いなどの実験や大河内の写真パネルの展示を行いました。ご参加いただいた方は31名でした。

城陽市の後援として広報「じょうよう」1月15日号に案内が掲載されました。

*7号機(京田辺市・西川発電所)の点灯式と第3回講演会のお知らせ等は裏面

NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会企画 連続講演会

第3回 省エネと再生可能エネルギーを考える講演会

太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーに関心が高まっています。そして再生可能エネルギーを地域の活力にしよう、まちづくりに生かそうとの取り組みもひろがっています。

連続講座3回目は新基軸の風力発電・レンズ風車のお話です。

風車に覆いをつけると回転力が増大する、こんな原理を応用して九州大学と連携してレンズ風車を開発・生産している会社が南丹市にあります。(有)共立機工です。その取り組みは日曜日の夜のテレビ番組、「夢の扉」でも紹介されています。どのような風車なのか、その性能と可能性、将来に羽ばたく夢をぜひお聞きください。

入場無料 **後援：城陽市（申請中）**

講師 岩永 康弘氏

(共立機工社長・南丹市 城陽市在住)

タイトル 「レンズ風車で広がる風力発電」

日時 2015年 5月23日 (土)

午後2時から

場所 文化パーク西館3階 第4会議室

(近鉄寺田駅 南へ5分)

講演会終了後、NPO法人・市民共同発電をひろげる城陽の会の総会を開催します

2号機発電所 拠出者への返済2月2日に完了

1号機に続き、私たちのNPO法人が呼びかけ、市民のみなさんの共同の力で昨年設置された2号機の太陽光発電は予測発電量を上回るに発電が続いています。このたび満1年を経過し、1号機に続いての返済が「個人宅発電設備設置協力金規定」に基づいて行われました。3号機は4月に第1回目の返済予定です。

第7号機発電所 点灯式（京田辺初・今年度4基目）

京田辺では初めて、私たち市民共同発電では7機目となる発電所の点灯式です

日時 2月27日（金） 10時から

場所 京田辺市田辺北川 西川発電所（4.8kw）

京田辺では初めてとなる発電所の開設をお祝いしましょう。

参加。お問い合わせは「会」までご連絡下さい（55-4190）

原発ゼロと地球温暖化防止に向け、足もとからの一歩をともに歩んでいきましょう。